

被措置児童等虐待事案の状況について

平成30年度、児童福祉法第33条の16及び同法施行規則第36条の30に基づき対応した被措置児童等虐待の状況は、次のとおりです。

1 虐待案件受理の状況

受理件数	調査結果	
	該当	非該当
6件	2件	4件

2 被措置児童等虐待の状況

被害児童性別		被害児童年齢階層			
男子	女子	乳幼児	小学生	中学生	高校生
1名	1名	0名	1名	0名	1名

虐待の種類		施設種別
身体的	性的	児童養護施設
1名	1名	2件

職員等の職種		
児童指導員	保育士	里親
2名	0名	0名

3 県が講じた措置等

県では、被措置児童等虐待が疑われる事案を受理した場合、関係施設等を訪問し、子ども及び職員等からの聴き取り調査を実施。調査結果を児童福祉審議会権利擁護部会に報告。同審議会の意見を踏まえ、2件の事案について虐待該当と判断し、施設等に対して再発防止策の取組みについて指導しました。